

情報公開用文書

「当院における大腸悪性狭窄に対する大腸ステント留置症例の検討」へのご協力をお願い

1, 研究(調査)の目的と概略

大腸悪性狭窄に対して大腸金属ステントを留置した患者様の診療に関する情報を調査し、今後の治療方針に役立てることを目的とします。

2, 研究(調査)の方法

大腸悪性狭窄の診断の元、「大腸金属ステント」の診療を施行された患者様に関して、年齢、性別、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。

3, 研究(調査)の参加施設

徳島県立中央病院

4, 調査期間

調査期間 2020年7月1日から2025年6月30日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、大腸悪性狭窄の診断の元、「大腸金属ステント留置術」の診療を施行された患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。

データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

徳島県立中央病院消化器内科 当院研究責任者 寺前 智史

TEL 088-631-7151